



NAMASTE ナマステ(こんにちは)



Ministry of Women, Children and Social Welfare, Kathmandu, Nepal

ネパール カントリーレポートとアクションプラン



ジェンダー主流化政策のための行政官セミナー

発表者：Sunita Nepal



Ministry of Women, Children and Social Welfare, Kathmandu, Nepal

ネパール



Ministry of Women, Children and Social Welfare, Kathmandu, Nepal

1. 背景



ヒマラヤ山脈

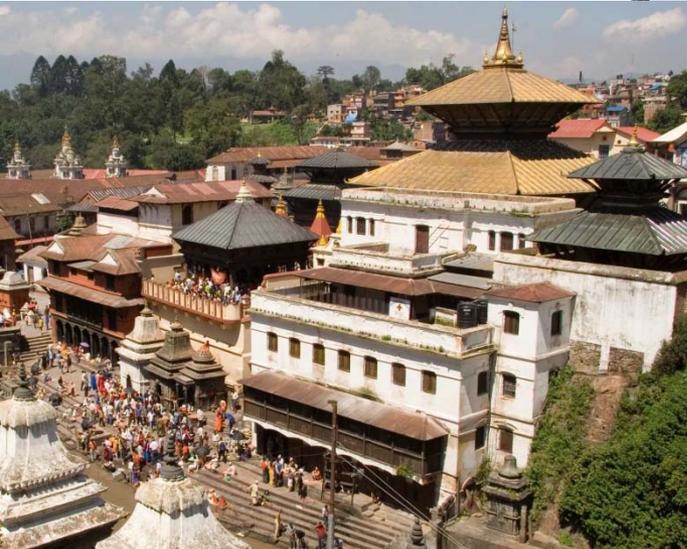


背景...



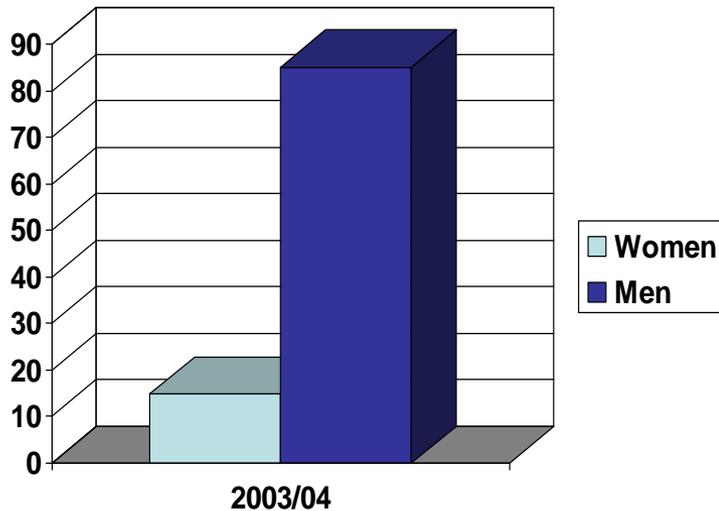
背景...

寺院と 仏舎利塔



2. ネパール女性の状況

- 男性が所帯主の家
85.1 %
- 女性が所帯主の家
14.9%



ネパール女性の状況.....

様々な部門での参画状況

指標	女性	男性
労働への参画	48.9%	67.6%
政府業務	10.88%	89.12%
憲法議会	197 (33%)	404
メディア (平均)	14%	86%
政府業務での意思決定レベル	1.96%	98.04%
警察	5.5%	94.5%



ネパール女性の状況....



意思決定レベル (高いスキルの仕事)

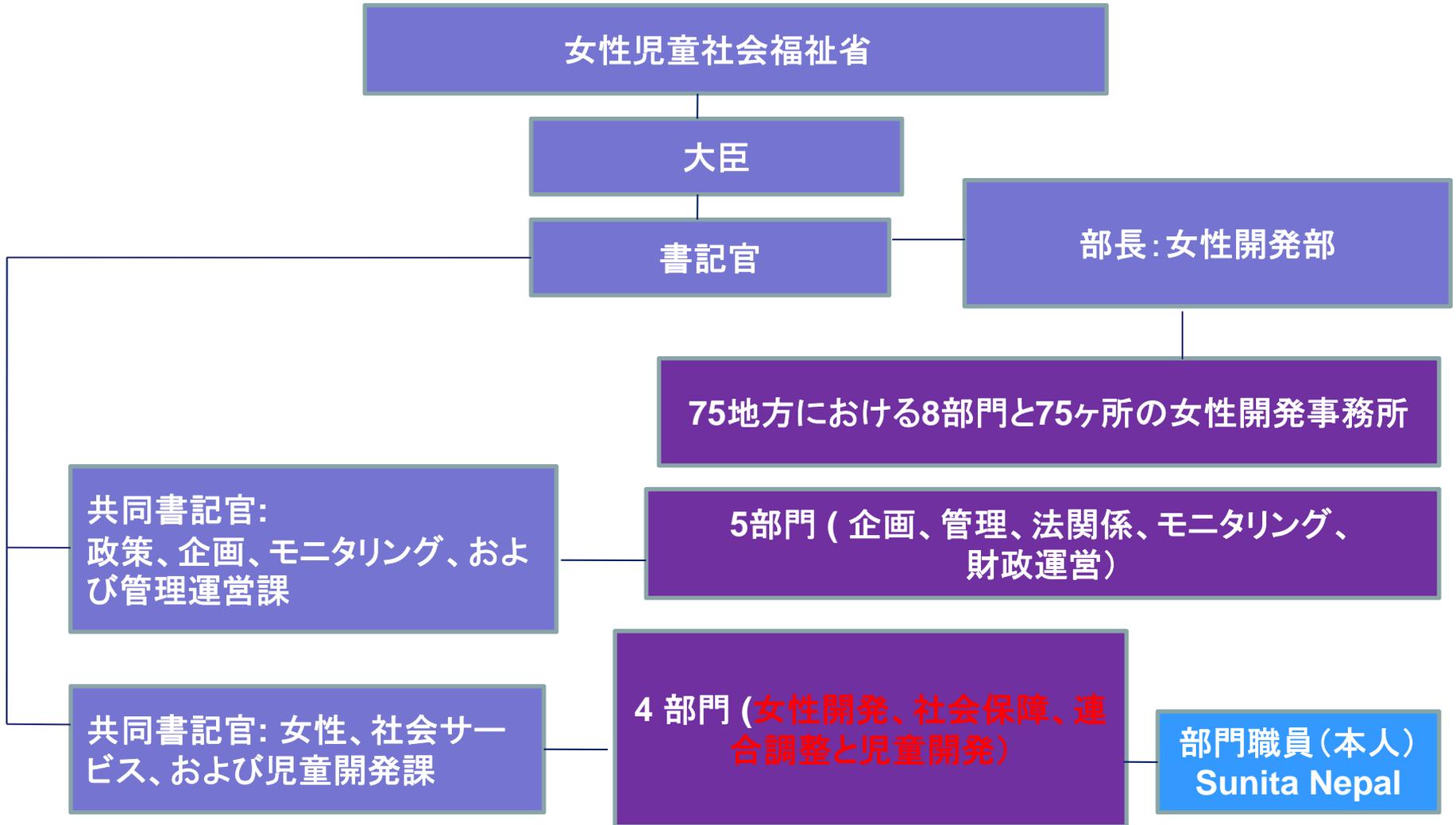


報酬有りの仕事 (労働市場)

無報酬の仕事 (自営)



3. 組織図



4. 職務内容

部門の担当官としての私の職務内容は次の通り:

- 省レベルの企画、年次業務計画の予算編成と実施
- その他の関係省庁や機関のためのジェンダー対応企画や予算編成や実施への提言
- UNIFEM, UNFPA, Sakti Samuha などのパートナー機関とのプロジェクト運営
- ジェンダーネットワークング会合の企画
- 年次業務計画のモニタリングや報告



5. ジェンダーに関する3つの主要問題

I. 社会文化に根ざした 不平等:

—Deuki:

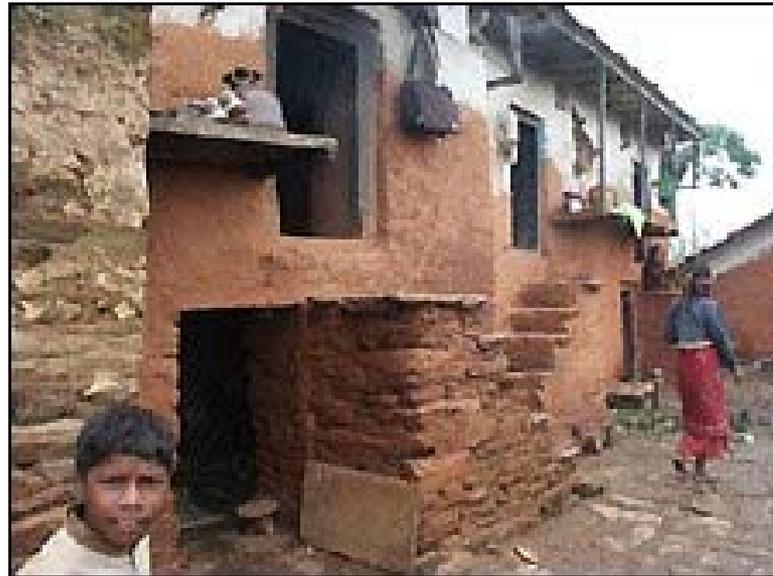
伝統的及び宗教的な慣習

貧しい家庭から女の子を
買って来て、神にDeukiと
して捧げる。その後は、ネ
パールの西の果てで、売春
をさせる。



3つの主要問題は.....

- **Chaupadi:** 女性は、毎月の生理期間中、不衛生で離れた場所で過ごさなければならない。



3つの主要問題は.....

- **ネパールの生き神様:**
 - **The Kumari Devi は真の女神と考えられている若い女の子である。**
 - **彼女は、目の色から声まで32にわたる厳しい肉体的要件を満たさなければならない。**
 - **初経を迎えると、Kumariとしての優位性が終わり、その後は普通の人に戻る。**



3つの主要問題は.....

II. 社会的疎外:

- カースト制度と民族に根ざした疎外: 障害を抱えた人やDalitやAdibasi Janajatiや回教徒のような恵まれない境遇にいる集団は、国が提供する資源や教育や施設へのアクセスができない。



3つの主要問題は.....

- ジェンダーに根ざした疎外: 権力や意思決定面での女性の参画の低さ、教育レベルの低さ、保健施設へのアクセスの少なさ、資産管理の不十分

指標	女性	男性
平均寿命	61.5	60.5
結婚年齢	19.5	22.9
土地の所有	10.8	89.2
家屋の所有	5.5	94.5



3つの主要問題は

III. 女性に対する暴力:

- ドメスティックバイオレンス

(身体的及び精神的拷問、夫や義理の両親による暴力、夫や言葉の乱用による抑圧)

- 持参金関連の暴力

(殺人、身体の切断、花嫁の家族の財産の搾取)

- 性的な暴力

(職場でのセクハラ行為、夫婦間レイプ、売春の強要、人身売買)



3つの主要問題は....

女性に対する暴力の報告例

SN	年 / 月	レイプ未遂	人身売買	人工中絶	ドメスティックバイオレンス
1	2003/04	18	56	08	922
2	2004/05	26	72	11	730
3	2005/06	41	97	14	939
4	2006/07	70	112	03	1100
	Total	155	337	36	3691



6. このセミナーで得た知識

- 日本におけるジェンダー主流化のプログラムや政策や最良実施(例)
- ジェンダー主流化とエンパワーメントに関する新たな問題
- ドメスティックバイオレンスとそのインパクト
- ジェンダー統計の開発方法
- 日本における女子差別撤廃条約と女性の状況



7. 課題

- 不安定な政治的環境
- 深く根ざした文化的及び社会的規範と価値観
- モニタリングと評価のための良い仕組みの欠如



8. 人身売買に対抗するアクションプラン

a. 背景:

- 人身売買はネパールの古代からの慣習である。
- 1846年から1950年まで、女性は奴隷や性的搾取の対象として、地方からRanas宮殿に人身売買されていた。



Women in Indian sex market



アクションプラン...

背景.....

- 1960年から1990年まで、主に売春目的で国境を越えた人身売買の数が非常に増えた。
- その後、中東や東南アジアの国々への職探しの移動も増えてきた。この安全でない移動の過程で、多くの女性や女の子たちがネパールで人身売買されていると示した研究がある。
- 毎年、5,000人から7,000人の女性や女の子たちが人身売買されていた。



アクションプラン...

目的

- **目標:** 人身売買を防ぎ、女性や子ども達を守る。
- **短期目的:**
 - **能力開発:** 女性や子供が人身売買されるのを防ぎ、またそれから守るために、国と地方レベルでの人身売買反対委員会が、効果的で効率的な人身売買反対活動を実施する。
 - **意識啓発:** 人身売買や安全な移動についての意識を高める。



アクションプラン...

対象となるグループ:

- 国家委員会及び地域委員会 (26地域)
- 女性開発事務所のスタッフ、女性団体のメンバー、地域開発委員会のメンバー、地方の非政府団体や地元学校 (4ヶ所の試験的地域)のメンバー



アクションプラン...

活動:

- 国及び地域レベル委員会(26地域)に対する能力開発研修
- 安全な移動に関する研修指導者への研修
- 人身売買反対のIEC(情報、教育及びコミュニケーション)教材の作成と普及



アクションプラン...

期待される成果:

- 国レベル及び地域レベル委員会が自分達の業務や責務について学べる。
- 詳細計画を含む研修の最終的なマニュアルが準備できる。
- コミュニティの意識レベルが向上する。
- コミュニティレベルで研修指導者への研修の受講者が意識向上プログラムを実施できるようになる。



आरि काडुतु

